

びふか 議会です

こんにちは。

2020年11月
北海道／美深町議会



秋・太陽と大地の恵みを

第3回 定例会 大型補正予算の中身は …… 2～4ページ

第3回 定例会 3件の意見書を国へ …… 5ページ

決算 特別委員会 令和元年度 予算の使われ方は …… 6～10ページ

一般質問 ここが聞きたい 2議員 …… 11～13ページ

私からの メッセージ 在りし日の「宗谷本線」
商店として出来ること 中野 博文 …… 16ページ
池野 浩敏

第115号

美深町議会

検索

ホームページから
議会の動きをご覧
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

第3回定例会

第3回定例会は9月14日に開会し、一般会計補正予算には新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策(第4弾)の提案を受け審議が行われ、意見書も3件が採択され国へ提出されることになり、また会期中に令和元年度決算審査が行われ、18日に閉会しました。

今回の新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策費は1億5738万円で、これまでの国の対策分を含めた総額は7億2776万円となりました。このうち町独自の対策分は3億584万円で、これらに対する交付金の配分額は2億6348万円となります。

一般会計補正

コロナ緊急対策
大型補正へ

1. 感染防止対策の強化

- 役場庁舎感染予防対策
- 小規模事業者感染予防対策緊急支援
- 指定管理施設感染予防支援
- 感染予防啓発・健康づくり推進
- 高齢者活動・感染予防支援
- 救急業務感染症予防対策

1,279万円

観光拠点の「道の駅」や「びふかアイランド」の感染予防の消毒液など消耗品や除菌脱臭機など対策を強化し観光客の回復を図ります。

また保健センター内の感染防止対策の強化と高齢者の感染予防用品の確保・認症ガイドブックの作成により感染予防の啓発・推進を行うとともに、救急業務での感染予防対策なども強化され、町民の安心安全な暮らしを支えることとなります。



救急車内に導入する殺菌機



2. 生活や経済への影響緩和

- 地域活動支援
- 集会施設感染防止対策支援
- 買い物支援宅配サービスカー整備
- 恩根内センタープラザ感染予防対策
- 赤ちゃん応援臨時給付金
- 生活支援ぬくもり特別給付金
- ほっとプラザ☆スマイル感染予防支援
- 学校授業体制拡充対策
- 教育施設感染予防対策
- 社会教育施設感染予防環境整備
- 体育施設感染予防環境整備改善
- 体育関係指定管理施設感染予防支援
- 放課後児童対策拡充

3,016万9千円

地域住民が安心して住民活動が再開できるよう、各コミセンに除菌脱臭機を配備し感染予防対策を強化。安心して出産・子育てができるように給付金を支給。

また低所得者の生活不安の解消を目指す特別給付金を支給。

各学校に会計年度任用職員を増員し、不足している授業時間確保を図ることとなります。

3. 地域経済回復事業

- 観光協会イベント実施支援備品整備
- 地域木材利用促進
- 観光施設安全衛生対策整備
- 地産地消推進

2,881万円

町内イベントを効果的にPRできる電子看板の導入。林産業支援と地場産木材の利用促進を図る事業や天塩川をフィールドとする観光施設の安全衛生対策。

地産地消推進につなげる農業振興センターの食品加工機器を更新し、停滞した地域経済の回復・活性化を図ることとなります。

町産材の利用回復に、林業研修センター改修の効果は

質問 林業研修センター改修の意義と目的は。

建設水道課長 林業団体から改修要望が出ていた。また林業大学の学習の場を確保するうえで男女兼用トイレや機能不足の給湯室は問題があり、間取り等の改修と合わせコロナ対策を行い利用することが有効であるものと判断した。

質問 地元木材の利用状況と経済効果は。

建設水道課長 コロナの影響で需要

が落ち込んでいるが、仁宇布小中学校と西団地建築が地場産材利用の取組み・地元経済の活性化につながると各地で注目されており、研修センターの改修もPRも兼ね実施したい。

防災資機材庫の 建設場所は適切か

総務 G 主幹 屋根との距離や周辺に堆積する雪のことなど体育館との関係を想定し

質問 資機材庫の建設場所が体育館西側の土俵との間だが、冬の緊急時に問題はないのか。

防災活動強化

質問 資機材庫には間仕切りや段ボールベッド・毛布等が保管されるが、非常食も一体的に保管することにならなかったのか。

質問 資機材庫には間仕切りや段ボールベッド・毛布等が保管されるが、非常食も一体的に保管することにならなかったのか。

総務 G 主幹 特に保存水の保管には断熱・暖房の面で高額な費用となるため、体育館に近い現在の保管場所(第3コミセン2階)で保管することとした。必要量は確保できているので、今のスペース以上に広がることはない。

農業 G 主幹 空知管内で一部実用化が始まっているが、まだ

質問 道内他地域での取り組み状況は。

ICT農業推進

4. 強靱な社会経済構造構築事業

- 防災活動強化
- テレワーク環境整備
- 町内事業所感染防止対策支援
- 集会施設トイレ改修
- フレンドバス車両購入
- ごみ収集車両購入
- 外国語対応機器購入
- ICT農業推進
- 研修施設感染症予防対策改修
- スクールバス購入

8,541万1千円

コロナ感染で不足している防災用品の確保を図り、手狭となっている防災資機材庫を建設し防災対策を強化します。また感染予防対策を施したフレンドバス車両購入やスクールバスを大型化し3密状態を改善します。

コロナ禍により人手不足が深刻化した農業支援のための、ICT農業の環境整備を進めコロナ収束後の生産基盤強化を図ることとなります。

研修施設感染症予防対策改修

質問 天塩川自然学が所有しているが、体育施設とみなして改修するのか。

教育 G 主幹 現在は美深福祉会から借りていて改修は福祉会の了解を得て行う。これまでスポーツ合宿・自然体験等で利用している、大部屋の個室化や換気設備の整備など感染予防対策等の改修を行なう。更なる有効活用を図るために美深福祉会と協議を進める。

質問者

荒川・藤原
齊藤・和田
岩崎

研究段階のものもあり本格普及はこれからだが、環境を整備すれば実用可能な段階になっており、これを機会に前進させたい。

原案可決【賛成多数】

用語解説

スマート農業

ロボット技術やICTを活用し、超省力・高品質生産を実現する新たな農業

ICT農業

I(インフォメーション)

これを融合させ、自動操舵を行う無人作業

C(コミュニケーション)

及び精密な機械作業が可能となる

T(テクノロジー)

3 件の意見書を採択

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣ほか関係大臣へ提出

**新型コロナウイルス感染症の影響に伴う
地方財政の急激な悪化に対し地方税財源
の確保を求める意見書**

(要約) 新型コロナウイルス感染症拡大で地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたく、令和3年度に必要な地方財源を確保することを求める。

提出者

藤原 芳幸

賛成者

小口 英治

中野 勇治

荒川 賢一

名取 明美

**軽油引取税の課税免除特例措置の継続を
求める意見書**

(要約) スキー場ゲレンデ整備の圧雪車等に利用する燃料の軽油引取税の課税免除特例措置が令和3年3月末日で適用期限を迎えることから同措置を継続することを求める。

提出者

五十嵐庄作

賛成者

岩崎 泰好

和田 健

齊藤 和信

田中真奈美

種苗法の改定に関する意見書

(要約) 北海道農業の発展は、官民一体の品種改良、種苗の安定生産の努力によって、これまでの種子法、種苗法の果たしてきた公的役割は大きい。国民の食を支えてきた優れた種苗を守るため、自家増殖の原則禁止や許諾制導入という案は、安定的な食料生産と農民の経営を脅かす危険性があり、改定案の取りやめを強く求める。

提出者

田中真奈美

賛成者

岩崎 泰好

和田 健

齊藤 和信

五十嵐庄作

第4回臨時会

7月28日

財産取得

タブレット端末機

4小中学校で322台

納入業者

リコージャパン(株)

北海道支社道北営業部

取得額

2573万8900円

原案可決【全員賛成】

一般会計補正

コロナウイルス感染症

拡大により、町内小中

学校での感染防止対策

費及び修学旅行実施に

伴う3密対策費などの

予防対策費等を計上。

質問

学校内での感

染予防対策の内

容は。

教育G 消毒液や換

品・消耗品について、

学校長が必要と判断し

たものに充てられ、1

校に対し200万円の
措置。

質問者

齊藤・藤原
岩崎

原案可決【全員賛成】

第5回臨時会

10月13日

財産取得

ごみ収集塵芥処理車

三菱ふそう 3・8t

納入業者

(有)共栄モーターズ

取得額

1441万9502円

原案可決【全員賛成】

財産取得

スクールバス

日野自動車(株)

44席 9列

納入業者

(株)坂井モーターズ

取得額

2163万9999円

原案可決【全員賛成】



藤原 芳幸 決算審査特別委員長

総合計画
第1章

自然環境と調和する
安全・安心なまち「美深」

主な質疑

環境保全の推進

質問

次世代に繋がる新エネルギーの新たな取り組みが見られないが。

おいても、カラスの対応に苦慮しているが、電線にとまるカラスについては、北電と電柱間にテグスを張る相談をしている。

駆除はハンターに依頼するも群れるカラスが様々な場所に移動するため有効な手だてがない状態。

企画G

取り組みの中心は「びふか温泉木質バイオマスボイラー」の有効活用。令和元年度の取り組みはないが、住民生活への利用促進に変わりはない。

有害鳥獣

質問

市街地にカラスが沢山みられるが、ふん害を含む対策と駆除目標は。

主幹 生活環境G

どこの市町村に

防犯対策 推進体制の強化

質問

統合により、美深警察署は名寄警察署美深分庁舎となった。安全対策は大丈夫なのか。

生活環境G 環境生活係長

これまでに、名寄警察署として推進体制を組んでいるので十分な対応ができている。



移転完成した名寄警察署美深分庁舎

公共交通の充実

質問

仁宇布デマンドバスの利用実績が上がったが、日曜・夜間運行で更なる実績アップができるのではないか。

主幹 生活環境G

生活路線の確保を優先しているのを見直しの検討はしていないが、地域からの要望があれば検討する。



市街地と仁宇布方面を往復するデマンドバス

移住体験住宅

質問

コロナにより社会状況が変化して移住希望者が増えているのではないかと。移住に繋げる新たな対策は。

企画G 商工観光係長

現在、移住を希望する人が増えたことは確認できないが、今後は増えると考えている。

質問者

岩崎・小口
和田・名取
田中・齊藤

テレワークも現実のものとなり、それらを組み込んだ移住体験も研究したい。

教育費
5億7735万円



町民1人あたり
138,619円

〔一般会計のなかみ〕
町民1人あたり
このように
使われました。

一般会計総額
52億7155万円

町民1人あたり
約126万円

令和2年3月31日現在 人口4,165人

総合計画
第2章
資源をいかす
活力に満ちたまち「美深」

GAPの取り組みと
安定生産の所得確保

質問 GAPなどの
取り組みはどの
程度進んでいるのか。
また農家の所得確保に
ついてどのくらい向上
しているのか。

農業G 農畜産係長
はもち米 生産組合で取り組みを
行っている。講習を受
け、勉強しているがG
AP取得者は一件。

農業G 農業者の所
得について調
べるのは難しいがJA
の報告の中で、その年
の販売実績が明らかに
されている。総体で向
上傾向にある。

用語解説

GAP：農業生産工程管理
農業で一定の成果を得ることを目的とし実施すべき
手法や手順などをまとめた規範、またはそれが適正
に運用されていることを審査・認証する仕組み。

AI・ICT産業

質問 畜産農業振興
事業についてA
I・ICT関係で、近
年の状況を踏まえ、人
手を使わないような先
端技術を導入し振興策
を考えるべきでは。

農務 先端技術の導
入については、
よりよいものを見極め

て、十分協議しながら
町としての支援策を考
えたい。

農用地の実態

質問 各営農集団の
農用地の実態を
どのように分析してい
るのか。

農業G 美深町以外
の経営者が土
地の取得や利用する状
況もあり、農地が荒れ
ることのないように利
用状況を注視し、町内
の営農集団の活動を支
援する。

商店街賑わい再生
推進事業の今後

質問 達成率は90%
で効果があった
が店舗近代化について
は2件であり、もう少
し後押しする措置を考
えてもいいのでは。

企画G 商工会と相
談し、今後ど

のような事業が効果的
になるのか勉強しなが
ら慎重に進めていき
たい。

企業誘致のPR

質問 社会情勢の変
化の中でPRを
全国的に進めていく方
向性を考えては。

企画G コロナの発
生によって情
勢が変化していく中で
企業が首都圏を離れて
いくことも聞いている。
実を結ぶのは難しいが
新しい形も含めてPR
を進めていきたい。



新施設で育つチョウザメ

今後の
チョウザメ事業


質問 チョウザメ事
業が軌道に乗っ
たら美深振興公社に移
管すると聞いていたが
温泉の経営状況を考慮
すると公社に委ねるこ
とは経営の足かせにな
るのではないか。

企画G チョウザ
メ事業の移
管は振興公社ありきで
やっているわけではない。
直営になっている部
分のランニングコスト
をどうするか、大幅に
仕事が増えるわけでは
ないので今後
も連携してこ
の事業が成功
に導けるよう
に努力するこ
とが一番。

質問者

岩崎・田中
和田・小口

農林産業費
2億6072万円




町民1人あたり
62,598円

土木費
6億1690万円



町民1人あたり
148,115円

衛生費
5億479万円



町民1人あたり
121,198円

総務費
7億8880万円



町民1人あたり
189,388円

民生費
5億6039万円



町民1人あたり
134,547円



子育て支援室・ぴよぴよルーム

総合計画
第3章

次代をつくる人を
育てるまち「美深」

ぴよぴよルーム

地域支援事業

質問 子育て支援室の利用が減少している要因は。

副幼児センター長 改修工事で5ヶ月ほど閉鎖した事と、今年に入ってからのコロナの影響により、利用者数の減少となった。

質問 現在、地域支援事業は中学校のスキー指導のみで、美術関連でスプリーアートの技術を持つ方もおり、人材活用で支援事業に活かせないか。

教育G 社会教育係長 今後の展開に活かしたい。

英語推進事業

質問 ALT（英語指導助手）1名増員による効果・課題と具体的な英語教育の向上を検証できる指標を示すべきでは。

副教育G 副主幹 授業の回数が増えたが学校間の連携不足もあった。授業の冒頭、自分の思いを英語で伝え、自己表現を高める取り組みを行い、苦手意識を持たないよう楽しめる授業を心がけることにも、先進校の視察や専門家の意見を取り入れ今後の授業に活かしたい。

教育次長 特色ある英語教育を目指しているので、学力向上の指標にも心がける。

また、実践的な英語力を身に着ける取り組みは。

公園管理

質問 新設になったプール前の公園の砂場は閉鎖されたままになっているが開放の時期は。

教育G 体育振興係長 猫等の衛生上の問題も想定されることから閉鎖している。管理上の問題を解決し、再開したい。周辺整備も指定管理者にしっかりと指導する。

子ども110番

質問 子ども110番の登録数は計画通りと思うが、子どもたちの理解度や設置家庭の対応マニュアル等はそのようになっていくのか。

教育G 社会教育係長 子どもマップがあり集団下校訓練で周知を図っている。設置家庭には対応マニュアルの講習等を含め更なる強化を図りたい。

質問者 田中・小口 岩崎



プール前公園の砂場

災害復旧費
1704万円



町民1人あたり
4,091円

労働費
582万円



町民1人あたり
1,397円

公債費
5億8884万円



町民1人あたり
141,378円

消防費
1億9571万円



町民1人あたり
46,989円

商工費
3億2246万円



町民1人あたり
77,421円

総合計画
第4章

健康で明るく
暮らせるまち「美深」

健康診断・予防対策

健康診断の受診の現状は。

保健福祉G 国民健康保険加入者を中心に集団検診を行い、受診率は約53%で目標の60%には届いていない。後期高齢者は約23%の方が受診している。若い世代、特に子育て世代の方に呼びかけをし、受診者を増やしたい。

質問 肺炎球菌ワクチンの接種状況と検証は。

保健福祉G 65歳以上の方が全員が1回接種できる制度とし助成している。自費接種も含めて3割くらいの方が接種して

おり、最近の接種状況から、希望者の多くが接種できているものとみている。

認知症対策

質問 オレンジカフェの内容は。

地域包括支援センター副主幹 コーヒーマッサージなどを行いグループホーム入居者の利用が増えている。認知症の方の居場所確保や情報交換の場となるよう目指していく。



好評なオレンジカフェ



移転改築が待たれる特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム

質問 洪水時の危険地域にあるホームの改築に向けて、美深福祉会と協議は進んでいるのか。

保健福祉G 昨年合地視察を行い、協議を進めている。8月には福祉会側の考え方も示され、第6次総合計画にも盛り込まれる予定で課題解消に向かうよう進めたい。

質問 特養の入居状況と待機者数は。

保健福祉G 入居者が48名で40名ほどの待機者がいる。

介護保険会計

質問 第8期の事業計画に向けて、現在ある基金の取り扱いと保険料額の値下げは。

保健福祉G 令和元年度は基金が増加したが、これまでの収支状況や今年度の利用状況を見て算定していく。

質問者 岩崎・名取 和田・齊藤

総合計画
第5章

みんなのでつくる
心かようまち「美深」

地域計画は地域で考えてもらいたい。

質問 様々な広聴活動の中で、自治会の地域計画も見直し、検討を加える必要があるのでは。

企画G 町の制度を活用しながら、現状の通り進める。地


指定管理料

質問 コミセン管理の人員費が時間単位と定額のもの、地域により異なる経費を計上している。電話料金も従来から

一般会計総額 **52億7155万円**
町民1人あたり 約**126万円**
〔一般会計のなかみ〕
町民1人あたり
このように
使われました。
令和2年3月31日現在 人口4,165人

議会費 **4835万円**

町民1人あたり **11,609円**

職員給与費 **7億8438万円**

町民1人あたり **188,327円**



大活躍の買い物支援カー

経費と認めているが、現状では課題もあるのではないかと。 **企画G** 人件費は指定管理者に委ねている。 **企画係長** 電話料金計上は今後、指定管理者と改善が必要なら協議する。

買い物支援

質問

買い物支援カーの運営状況は。

企画G シルバー人材センターに委託し運転者3名で運営。登録者は105名で、多い方は週2回ほどの利用があり利用者も増加傾向。 **職員研修** 職員研修制度で自主研修の利用が少数であり、異業種の現場を見ることも大切で積極的な取り組みが必要では。

質問

職員研修制度で自主研修の利用が少数であり、異業種の現場を見ることも大切で積極的な取り組みが必要では。

総括質疑

総務課長 過去には事業所研修もあったが、現在の計画には入っていない。更に充実するよう努力する。 **ふるさと納税** ふるさと納税の手数料等の状況は。

質問

ふるさと納税の手数料等の状況は。

企画G 昨年ポータルサイトを増やしたため、寄附額の増につながっている。サイト利用料は現状5社だが、手数料は各社で異なり、返礼品・サイト利用料・販売手数料等を含め全体経費は寄附額の50%以下になるようにしている。

企画G

昨年ポータルサイトを増やしたため、寄附額の増につながっている。サイト利用料は現状5社だが、手数料は各社で異なり、返礼品・サイト利用料・販売手数料等を含め全体経費は寄附額の50%以下になるようにしている。

質問者

岩崎・田中 小口

町内の救急体制

質問 救急車の出動時に美深厚生病院に搬入する現在の仕組みに法的な根拠は。

消防署長 救急業務規程により医療機関の選定にあつては直近の病院に搬送することが原則。



充実が求められる救急体制

副消防署長 直送することが、判断は厚生病院の医師となる。

二次行政評価調査

質問

決算審査は総合計画を基にした進め方で行政評価調査が判断の基準。ここ数年同じ内容の評価の記載があるなど、危惧する点があるが。

町長

記載内容については、今後の課題として受け止める。

質問者

中野・岩崎

一 般 質 問

2名の議員が町政を問う！

一般質問の各ページは、質問した議員自身が質疑を要約し原稿作成しています。

コロナへの対応は

名取 明美 議員

■介護予防事業が十分にできているのか？

岩崎 泰好 議員

■敬老祝賀会の今後の在り方は？

■次なる感染防止対策の取り組みは？

一般質問とは・・・・・・・・

各議員が美深町の行財政全般にわたり町行政当局の考え方や疑問点を質すことで、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果としては、現行の政策を変更・是正、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

① コロナ禍における高齢者の介護予防の勧め方について



名取 明美 議員

問 フレイル(虚弱)対策として
防災情報端末機を活用したラジオ体操は

答 3密を避けるラジオ体操等を
検討したい

質問 コロナ禍において、介護予防事業が十分にできていないのか、現在の状況をどのように考えているのか。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響で3月から5月の緊急事態宣言下では、保健センターで実施している運動機能向上教室や社会福祉協議会・各自治会が実施しているサロン事業のほとんどが中止となった状況であった。緊急事態宣言が解除された6月から感染予防に取り組みながら、ほぼ従来通りの事業が進められている。

質問 感染予防に取り組む介護予防は大切なこと。介護予防事業は、体力向上だけでなく、交流の場としても欠かすことが出来ない。各自治会でのサロン等においては、

3密防止やマスク着用が行き届いていないことに心配している。行政で指導する必要があるのでは。

町長 行政としても、町民に徹底をお願いしたい。

質問 外出自粛の中で、「自宅」「運動」「習慣づけ」がポイントと考える。ラジオ体操は、「家でできる」「3密を避けられる」

「誰でも知っている」「季節に関係ない」「座ってでもできる」「免疫力を高める」「全身運動。防災情報端末機でラジオ体操を流すなど、基礎体力の向上を目指しては。」

町長 3密を避けながらラジオ体操等について何が出来るか検討していきたい。

質問 コロナ禍の終息が見えないな

か、高齢者がフレイルにならないために今後介護予防事業をどのように勧めていくのか。

町長 冬に向けて更に外出が減り、活動が低下することが懸念される。インフルエンザの流行時期を迎えることとなり高齢者のみならず感染症対策が重要となる。

また、フレイル予防は重要な課題と認識しており、運動や生活での工夫等についての広報や回覧・防災情報端末機などを活用しながら情報を提供していく。



新生町内会 敬老会でのラジオ体操

用語解説

フレイルとは健康状態と介護状態の間の段階。具体的には、体重減少、握力低下、疲労感がある、歩くのが遅くなった、運動の習慣がない状態のこと。



岩崎 泰好 議員

- ① ウィズコロナ時代の敬老祝賀会 今後の在り方を問う
- ② 町民の生活を支える様々な分野への次なる感染症防止対策に取り組む気概と方策は

問

新たな敬老の仕組みづくりは

答

検討する良い機会にもなる

質問 新型コロナウイルス、イルス感染症下、多くの行事やイベントは中止され再開のめどさえつかない状況。敬老会もほとんどの自治会が中止となり、近年の祝賀会への参加率が減少傾向にもある。このコロナ禍という今年を好機として捉え、アンケート調査などを実施して、ウィズコロナ時代の新たな敬老の仕組みを作り上げてはどうか。

また、祝いの金の支給も健康寿命の延伸の観点から健康クレジットアプリ等により敬老の日の「お祝いポイント」を付与するなど制度の進化を図ってはどうか。

町長

敬老会は昭和2年から実施し

たという記録があり、時代の流れと共に移り変わり、公民館事業、町の主催、行政区、婦人会、そして現在では自治会活動の中で開催され、地域の高齢者が一同に集い、心からの敬意を表し、交流できる大切な行事と考えている。日頃の地域の繋がりが支え合いが重要な時代であり、今後とも形を変えながらも

継続していききたい。一方で、近年一部の自治会では参加率の減少傾向や担い手の高齢化などの課題もあり、新型コロナウイルス感染症の影響により今年の対応、

今後の在り方を検討する良い機会にもなるとの認識は同じ。自主的な自治会活動として開催することは大変重要で、今後の敬老の形と合わせて各自

の取組みを実施して、関係機関の連携の下、体系的に進める必要があり、先進的な事例などを研究してみるべきと考える。

で「祝い品支給事業」で、提案の健康クレジットアプリ導入は、高齢者がスマートフォンをどの程度所有しているのか、また操作が容易ではないという心配事もある。保健事業全体においてポイント制を付与して保健増進を図

質問 感染症対応病器の導入など感染者の特定や初期対応ができる医療施設の充実と町民生活を支える分野の職員の定期的なPCR

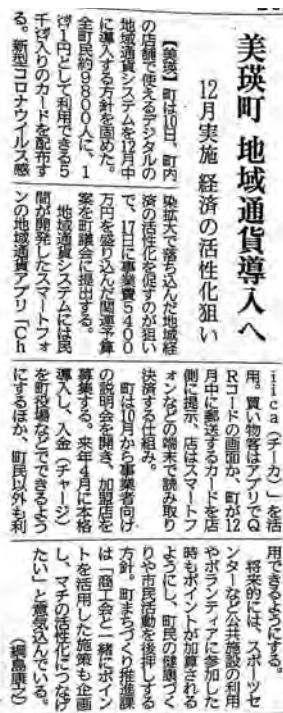
検査実施と発生時の対応、対応従事者への慰労金の支給は。 **町長** いずれも独自の取り組みは考

問

感染症対応病床やPCR検査器の導入は

答

独自実施の考えはない



地域通貨のポイントサービスを活用した取組みが各地で始まっている

災害用備蓄品の現状は

調査日

令和2年7月7日

調査事項・内容

災害用備蓄品の現状と課題

- ①災害用備蓄品の保管・管理状況について
- ②自治会及び家庭の災害用備蓄品等について
- ③災害用備蓄品等の整備計画について
- ④災害発生時における避難対策について

災害用備蓄品は、町民体育館に間仕切りパーテーション・毛布等が保管され、第3コミセンには非常食や保存水、紙おむつなどを保管。各保管場所は整理整頓されているものの、特に体育館はスペース不足や通路が狭く複雑で緊急搬出時の問題が多く、新たな保管庫を整備する必要がある。

自治会に配備した備品は緊急時に備え、定期点検の指示を行い状況把握に努めるべきである。65歳以上のみの高齢者世帯等に貸し出した「ラジオ付きランタン」は使い方の周知を自治会と連携して行い、防災情報端末機も双方向機能を有効に活用すべきである。



第3コミセンで保管されている非常食・保存水

避難所では新型コロナウイルス感染予防対策が必要となり、3密対策として複数の避難所を確保し、収容人数の設定や健康調査・行動制限も必要であり、宿泊施設の活用、親戚知人宅へ個人で避難した町民の動向把握など多岐にわたるマニュアル整備も課題である。町民の安全安心を守るため、第5次総合計画で教訓となった防災



が制定され、「女性も男性もすべての個人が互いに人権を尊重し喜びも責任も分かち合いつつ性別にかかわらずなくその個性と能力を十分に発揮できる社会の実現」として動き出してから20年、「女性活躍加速のための重点方針」が加味されて6年。わが町の公務員の現況を見ると

- ▼管理職に占める割合は10%（10人中1人）
- ▼係長相当職に占める割合は26・4%（53人中14人）
- ▼審議会等委員に占める割合は21・5%（186人中40人）
- ▼議会議員に占める割合は18・2%（11人中2人）。

この数字をどう読み解き、どう対応したらいいのかは、読者の議論に期待したい。

岩崎 泰好 記

内閣府のホームページにあった「市町村女性参画状況見える化マップ」に目が止まる。男女共同参画社会の実現に向けて平成11年に基本法

調査日

令和2年7月31日

調査事項・内容

1 チョウザメ事業の現状と課題

- ①事業推進委員会の開催状況と内容
- ②飼育研究施設の稼働状況と建設工事進捗状況
- ③飼育状況やふ化の現状と課題
- ④販売状況と今後の課題

2 山村留学制度と仁宇布小中学校の学校運営の現状と課題

- ①特認校や義務教育学校など検討課題の進捗状況
- ②山村留学制度を支える今後の施設整備
- ③学力や体力面における取り組みの現状と検討課題

チョウザメ事業

事業推進委員会は、令和元年から未開催。ふ化・飼育の現場の状況と計画の進捗に乖離、キャビア生産も採算へへすで事業計画目標に到達するには困難な状況で事業計画の再検討が必要。定期的開催が課題。

販売状況は、瓶詰めの本格的キャビアは本年度から販売予定だが、本格的なものには至っていない。魚肉販売は、人気メニューのチョウザメ料理の開発や町内飲食店における普及と

定着が必要、一定期間低価格での魚肉提供を町内外の事業所レストランなどに働きかけることも一案として提案。

山村留学

義務教育学校制度は町の負担が生じる場合があることが判明し、現在は保留検討課題。

小規模特認校の制度導入は、「山村留学に関する調査特別委員会」の際に児童生徒数の維持確保の根幹をなすものとして位置づけられ、早急な実現が課題。山村留学制度を支え

る今後の施設整備は、山村留学に関する調査特別委員会での指摘をふまえ、親子住宅・ホスターホームの整備等は早急に取り進むべき課題。



建替が進む仁宇布小中学校

議会の動き・予定

9/3	全員協議会
9/7	議会運営委員会
9/8	議会広報特別委員会
9/9	農作物生育状況調査
9/14	第3回定例会開会 提案説明、一般質問
9/16	決算審査特別委員会
9/17	決算審査特別委員会
9/17	議会運営委員会
9/18	議案審議、 定例会閉会
9/18	議会広報特別委員会
10/5	議会広報特別委員会
10/9	上川管内町村議会 議員研修会
10/13	第5回臨時会
10/13	議会広報特別委員会
10/16	産業教育常任委員会 所管事務調査
10/22	議会広報特別委員会
10/28	議会広報特別委員会
10/29	総務住民常任委員会 所管事務調査
11/16	士別市議会視察

表紙を飾る人



「秋・太陽と大地の恵み」ふるさとの味を届けてくれる方々をフォーカス。

▼今年オープンした富岡の『風土ファーム』の加川可名子さん。珍しい野菜を作り、食卓に彩りを添えてくれます。

▼『道の駅(株)アウル』の入り口には地元農家さんが作った野菜があふれています。店員の川合京子さん。明るい声でアウル顔として大活躍。

▼昨年オープンの『びふか陽だまり』では「いらっしやいませ！」の大きな声。地元JAなどの協力で、「町中の顔」として野菜を提供してくれています。

足を運んでいただき、めぐる季節と共に「美深の味」をどうぞ召し上がれ。

美深の農業はまちを支える大切な基幹産業で

在りし日の「宗谷本線」

なか
野の
博文



私は道北の自然の素晴らしさと大自然を縦断する宗谷本線の魅力にひかれ「地域おこし協力隊」として美深町に来て3年目となります。出身は後志の岩内町ですが、私の地元にはない魅力あふれる自然の宝庫だと実感しています。

国鉄時代には北海道をクモの巣状に張り巡らされていた鉄道路線を、時刻表を駆使して旅をしていました。札幌から稚内を目指す夜行列車は旅人にとって利便性の高い列車でした。なぜならホテル代を節約でき、翌日の次なる路線への時間短縮が可能だったからです。当時の駅窓口は深夜も駅員が常駐していました。長い停車時間を利用してホームで立ち食いそばを食べ、今では経験できない古き良き時代でしたが、JRとなり次第に鉄道路線が

消えはじめ、道北では宗谷本線以外の路線は廃線となりました。

私にとって宗谷本線とは人々を旅に誘う力があり、旅人の心を癒してくれる路線だと感じていました。一人でも多くの人に宗谷本線そして美深町の魅力を知ってもらえるよう情報発信をしていきたいと思っています。

私からのメッセージ

美深町民のおふたりからメッセージをいただきました。

私は大学から美深を離れ、卒業後は関東方面で約27年間、機械設計の仕事をして、今年の5月に美深へ戻ってきました。度々、帰省する度に町に人が歩いていないなど思っています。

美深へ戻ってくる際に友人から北海道に遊びに行くと言われて、はじめに聞かれるのは「北海道のどこ・・・？」地図を指差し答えると「上の方なんだ、寒そ

うで雪が多そう！」と。帰って来ると地元でクラフトビール店が有り友人に伝えると、「ビール飲み・・・。」と「自然に包まれに行きまうす」と言ってくれました。

来年はぜひ友人にも美深を紹介していただけると思います。

まだ、戻ったばかりですが、毎月一回はお酒の試飲会を開催して、今まであまり日本

酒やワインなどを飲まなかった方々にも飲んで頂けるよう、店に日本酒やワインを取り揃えていきたいと思えます。

商店として出来ること

いけ
池の
野の
浩
敏

